



宝永小だより

No.6

福井市宝永小学校

令和7年6月26日

学校教育目標：ひとり立ちできる子 ～心身共にたくましく、進んで学び合い、高め合う児童の育成～
めざす児童像：進んで学び合える子・協力し合える子・心と体を鍛える子・ふるさとを大切にする子

5年生 貴重な体験を積んだ宿泊学習

5月21日(水)・22日(木)

福井県立芦原青年の家

- 一日目
- ・入所式
 - ・オリエンテーション
 - ・生地からのピザ作り(昼食)
 - ・カヌー体験
 - ・夕食
 - ・キャンプファイヤー
 - ・入浴、ベッドメイキング
 - ・反省会
 - ・消灯、就寝

- 二日目
- ・起床、洗面、健康観察
 - ・朝のつどい
 - ・朝食
 - ・清掃、荷物の整頓、荷物移動、部屋のチェック
 - ・スコアオリエンテーリング
 - ・野外炊事
 - ・退所式

で、宿泊学習を実施しました。天候にも恵まれ、子どもたちは仲間と協力して、楽しく充実した2日間を過ごすことができました。

子どもたちは、「集団宿泊および野外活動を通して自然に親しみ、相互に協力し友情を深め合い、きまりある生活態度を養う。」という目的をもって活動しました。どの活動も協力して成し遂げ、仲間と過ごす貴重な体験になりました。豊かな自然の中で、学校ではできない経験を積んだ子どもたちは、大きく成長できただけでなく、学年・学級としてのまとまりも、一段と進みました。



<入所式のあいさつ>



<ピザ作り>



<昼食は焼きたてのピザ>



<北潟湖をバックに>



<カヌー体験>



<夕食>



<キャンプファイヤー>



<朝のつどい>



<スコアオリエンテーリング>



<野外炊事>



<手作りカレー>



<退所式のあいさつ>

<5年児童>わたしが宿泊学習で学んだことは、友だちと協力する大切さや、いつもあたり前のようにご飯を作ってくれるお母さんやおばあちゃんへの日ごろのかんしゃの気持ちです。

友だちと協力する大切さは、キャンプファイヤーの時に感じられました。なぜかという、レクリエーションの人のけいかくしてくれた、遊びで遊ぶときみんなが協力的で、かつみんながたのしい、そういう時間がながれていました。

日ごろのかんしゃの気持ちは、野外学習の時に感じられました。なぜかという、あらい物のむずかしさや、調理のむずかしさがよく分かったからです。

わたしは、このようなことを宿泊学習で学びました。これらのことをふまえて、あしたからの学校生活に少しでも学んだことを活用していきたいと思います。

<5年児童>わたしは、宿泊学習を通して二つのめあてを達成できたんじゃないかなと思いました。

一つ目は、友達の良い所を見つけることです。宿泊班では、二人の女子が「これをした方がいいんじゃない」と声をかけてくれて良いな、と思いました。活動班でもピザ作りの時など、みんなが役を決めてしっかりと行動することができたので良かったなと思いました。

二つ目は自分のセリフを大きな声で言うことです。セリフを覚える練習はたくさんしましたが、大きな声で言うことは練習していませんでした。本番でも礼を言えなかった所などもありましたが自分では大きな声が出せたんじゃないかな、と思いました。ですが、もう少しできるんじゃないかな、と思った部分もあるのでみんなの前で言うセリフがあったら司会で出たときよりも大きな声を出したいです。

3・4年生 これは罪に「なる?」「ならない?」 5月21日(水)

警察の企画事業で、小・中



＜ひまわり教室の一場面＞

中学生や高校生を対象に規範・防犯意識の高揚を図るために行われている非行防止教室「ひまわり教室」を実施しました。

福井警察署 生活安全課の方が、子どもたちの日常生活の中であり得そうな例を提示し、それが罪になるのか、ならないのかを子どもたちが考えました。けんかが原因で学校の壁に落書きをする、お金を拾ったのでノートを買ったなどの様々な例を示され、子どもたちは、日頃の自分の生活を振り返りながら確認をしていました。次に、「色々ないじめ行為」について話があり、へんなあだ名をつけること、まちがいをみんなでせめること、人の体のことをからかうことなど、子どもたちが日ごろ何気なく行ってしまうようなこともいじめであると再

認識できました。そして、SNSを利用することで小学生は犯罪に巻き込まれるケースが増えていて、脅されても色々な写真を送ってはいけないことを強く伝えられました。

最後に、ルールを守ることが自分を守ることにつながることを教えていただきました。今回の授業を通して、子どもたちはやってはいけないことを改めて確認し、今後、どうするとよいのかを考える貴重な時間となりました。

＜3年児童＞わたしは、今日のひまわり教室で SNS に人のわる口を書きこむのは、ぜったいにしてはいけないと知ったので、ぜったいに大人になっても SNS に人のわる口を書きこみません。けいさつの人が言っていたことをずっとわすれずにいたい。友だちに「おごって」なんてぜったいに言いたくないです。もし、いじめに合っている友だちがいたら、まよわずに助けてあげたいです。

＜4年児童＞いじめやはんざいはしてはいけないことだからぜったいにしないし、しようとしている人がもしいたらとめたいし、その場からはなれようと思いました。ひまわり教室で分かったことがいろいろあるのでこのことをわすれずに生活しようと思います。

＜4年児童＞いろいろなことではんざいになることも分かったし、SNS でいろいろなことがバラされるってこともわかりました。あと、SNS で知ってなかよくなった人から「〇〇をしないと、家をもやすぞ！」と言ってきたらとりあえず大人の人に言うか先生かけいさつの人に相談をすると分かってよかったです。

1年生 年長児と交流 5月23日(金)・28日(水)

本校では、校区内の4園（聖徳幼稚園・尾上幼稚園・聖三一幼稚園・北部保育園）と園小連携・接続の取組をしています。その取組の一つである交流活動「こうえんであそぼう」を実施しました。5月23日(金)は聖三一幼稚園と北部保育園との年長児と本校の1年生がお泉水公園に、28日(水)は聖徳幼稚園と尾上幼稚園との年長児と本校の1年生が尾上公園に集合し、交流しました。

まず、各グループの顔合わせとして、自己紹介をしました。その後、園児の企画した様々な鬼ごっこやケイドロをしました。園児と1年生が公園の中を広々と逃げ回り、賑やかな声が響き渡りました。次に、1年生の子どもたちが企画した遊びを楽しみました。23日(金)のお泉水公園では宝探し（松ぼくりを公園内に隠して見つける）を、28日(水)の尾上公園では宝はこび（園児と1年生が混じり合って3つのグループに分かれて円形になり、ボールを1周回す）を楽しみました。

1年生の子どもたちは、学校の中で一番年下ということもあって、上級生から世話をしてもらって側ですが、このように異学年で交流することで、1年生の子どもたちの成長を感じました。秋にも、交流活動を予定しています。それまでに、子どもたちが、どれだけ成長しているか、楽しみです。



＜仲良く、宝探し＞



＜力を合わせて、宝はこび＞

2年生 ドキドキ・ワクワク「まちたんけん」 5月26日(月)・28日(水)・29日(木)

生活科「ま



＜黄色コースの一場面＞



＜青色コースの一場面＞

ちたんけんに行こう」の学習の一環として、子どもたちは校外学習に出かけました。子どもたちは登下校で区分けされている黄色（宝永中下、松ヶ枝、清川）・青色（宝永上、江戸東、尾上）・赤色（松本下、松本中）ブロックを、全員で探検しました。

子どもたちはこの学習のふり返りで、3つのブロックに共通してあるもの、それぞれのブロックにしかないものを見つけたことに喜びを感じていました。宝永地区には、様々な施設があることを大変ありがたく思っています。



＜赤色コースの一場面＞

＊学びが充実していたことは、授業後や帰校した子どもたちの表情や感想からもわかります。子どもたちが五感（視覚、聴覚、嗅覚、味覚、触覚の5つの感覚）を使って学ぶ、様々な教育活動を取り入れていきたいと考えています。